

# 山桜の里 戸赤

スタンプ帳の説明

## 戸赤の山桜・東北の名所に

### 桜の名所巡り 東北復興応援

**あすから88カ所スタンプラリー**

被災地への花見観光を呼び掛ける「東北復興応援」をテーマに、東北六県や企業などから、東北の桜の名所88カ所を巡るスタンプラリーを4月1日から始める。一巡のスタンプを完了すると、スタンプラリーの賞品として、福島県産の桜餅や、福島県産の桜餅を贈る。スタンプラリーの賞品として、福島県産の桜餅や、福島県産の桜餅を贈る。

### 桜で福幸

## 東北の桜の礼所を巡ろう！スタンプラリー帳の使い方

東北各県の桜の礼所ごとにスタンプを集めていただくスタンプラリーです。集めたスタンプの回数や基準に応じて、抽選で記念品をプレゼントします。

目指せ！  
八十八カ所制覇！

- 実施期間：2013年～2020年の毎年4月1日～5月31日の間実施  
※礼所により期間等に変更がありますので、ご注意ください。
- 応募締切：毎年5月31日締め切り（※消印有効）
- スタンプ設置場所：各礼所・礼所管轄の観光協会・観光案内所等  
※設置場所の詳細は「東北・夢の桜街道」ホームページ（<http://www.tohoku-sakurakaido.jp>）をご覧ください。

- スタンプは必ず「東北・夢の桜街道スタンプラリー帳」に押ししてください。このラリー帳以外のものへの切り貼りや、他の用紙の切り貼りは認められません。間違えて押しした場合は「11ページ」にある予備のスタンプ・スペースに押し直してください。
- スタンプは設置場所や設置施設等の対応時間、開館時間に限り押印できます。「閉館時間」や「休館日」には押印できません。休館日や営業時間については、何らかの事情でやむを得ず変更される場合がありますので、事前に観光協会等へ確認してからお出かけください。詳しくは「東北・夢の桜街道」ホームページをご覧ください。
- スタンプラリー帳は1人1冊をご用意ください。
- スタンプは礼所ごとに設定されたオリジナルスタンプ（全88種類）です。

### 応募方法

各県ごとにスタンプを押し終えたら、期日までに該当ページをコピーして応募してください。応募方法の詳細については、「東北・夢の桜街道」ホームページをご覧ください。

※送付されたスタンプラリー帳のコピーに認められないスタンプ等があった場合は無効となります。  
※賞品には限りがありますので、応募者が多数に上ったときは、厳正な抽選を行い、賞品をプレゼントさせていただきます。

### 完全制覇をされた方へ

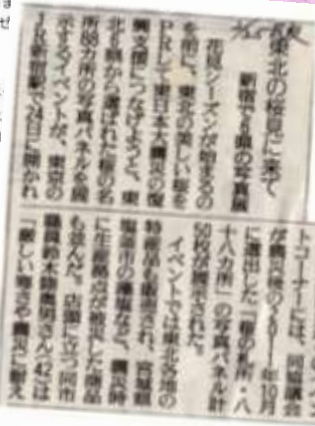
2020年5月末までの期間中に「桜の礼所・八十八カ所」全てのスタンプを集めた方には、もれなく認定証を差し上げます。全礼所を完全制覇した場合には、「東北・夢の桜街道」ホームページ上「完全制覇」申込用紙をプリントし、必要事項を記入のうえ、スタンプラリー帳本体とともに事務局へ送付してください。事務局より認定証とともに事務局から後日ご返送いたします。

3/31 福島民報

ふくし



2/25 福島民友



3/31 福島民報



3/31 福島民友



毘沙門堂にスタンプラリーののぼり旗

## 戸石の広場 毘沙門堂に

スタンプ帳とスタンプが置いてあります。

【木地の学習No.30】奥州第1回目の氏子狩に先立つこと60年、会津へ氏子狩に来たとする記述がある。田島町小椋十三男氏所蔵になる「居所景図覚書」の中に「天和二(1682)年八月廿八日、近江国愛智之郡蛸谷村大岩右近様御巡国一付軒一付金巻分つつ差出候」とある。この当時黒岩小屋(現・熱塩加納村)に在住していたのであり、また、この小屋は古くから木地師が出入りしていたところでもあった。この景図覚書は、文政年間木賊平小屋(現・昭和村)に落ちてから作成されたと思われる。奥州氏子狩については、寛保三年以前にあったという資料は、この小椋十三男文書の外にはなく、事実であるかどうかの判断はむずかしい。寛保三(1746)年、初めて会津領での氏子狩をするが、数ヶ所の木地小屋が漏れている。その後山形県、宮城県へと巡回している。次回は、また三年後の寛延二(1749)年に氏子狩を訪れるが、わずかに数ヶ所の木地小屋しか巡回していない。この年は会津では不作の年であり、「近年木地下値で物価が高く、湯命に及んでるので扶食米を拝借したい」と針生木地小屋が田島の役所へ訴え出ている。氏子狩どころではなく、早々に見切りをつけて帰国したものであろうか。君ヶ畑の氏子狩りが来た最初は、明和七(1770)年の四八号簿冊である。この氏子狩帳は年号を欠くが、前後氏子狩帳の標題、書体等と照らし合わせ考えると、明和七年作成は間違いないと思われる。(会津地方歴史民俗資料館「木地語り」より) (つづく)

平成25年 第10回

山桜祭りの日程は、4月27(土)・28(日)・29(月)

山桜祭り準備会4月21日(日)午前8時30分から……この日同時に、学校と集会所の雪囲い撤去・表示板掲出等

4/11 福島民報

スタンプ  
集めて  
無料宿泊券  
に応募しよう

☆ ☆  
戸赤の山桜が  
札所に

町内のグルメマップに水  
車ろくろのしんごろう紹介



スタンプ帳



スタンプ案内の表示板(毘沙門堂にあります)

戸赤水車式木地工房来訪者年度別実績

	3月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	計
18													
19	143	385	792	233	262	131	182	244	156	134	102	121	2,885
20	145	332	461	303	282	202	229	318	123	76	91	62	2,624
21	104	390	702	319	201	167	249	647	338	109	53	96	3,375
22	104	285	1,167	1,450	177	166	147	223	93	34	16	27	2,333
23	41	98	498	145	123	54	75	225	143	15	16	6	1,439
24	21	222	650	120	225	59	51	230	183	14	12	17	1,804

戸赤自然体験あそびの学校「やまざくら」年度別利用実績

	会		議		泊		イ		見		学		そ		の		他		計	写真	備考
	件数	人	件数	人	件数	人	件数	人	件数	人	件数	人	件数	人	件数	人	件数	人			
18	4	49	25	191	4	341	8	196	20	238	61	1,015	520								
19	2	37	72	181	2	81	2	47	4	29	82	375	459								
20	3	50	37	256	2	163	6	143	2	15	50	519	295								
21	2	38	31	142	1	45	2	30	0	0	36	255	290								
22	3	65	17	208	0	0	1	11	3	66	24	350	215								
23	0	0	16	155	0	0	0	0	0	0	16	155	72								
24	1	34	6	38	0	0	0	0	3	82	10	154	142								

(ストーリー性のある村づくりのために[No.1]・紅梅前宮) 以仁王(もちひとおう)の拳兵 おごれる平家の権勢を憎む声がしたいに高まりつつあった頃、源三位頼政は平家討滅の謀(はかりごと)をめぐらし、人皇七十七代後白河天皇の第三子高倉宮以仁王を奉じ、その令旨(りょうじ)を諸国の源氏に伝えさせようとした。だがその謀は忍ちわかってしまい、治承四年(1180)年四月、宇治川において平家の軍と戦い大敗した。正史ではこの戦いにおいて以仁王は戦死したということになっているが、宇治川で亡くなったのは実は影武者で、王は頼政の弟右馬頭守源頼行を頼って越後国小国城を目指し、ひそかに落ちられたのだという。(「会津の歴史伝説—とっておきの33話—」小島一男著) (発行所歴史春秋出版株式会社) 出典) (続く)